

スペースの尾西氏ら講演

中部デザイン団体協議会（CCDO、安藤誠一（会長））は6月29日、名古屋市のナディアパーク・



あいさつする安藤会長

デザインセンタービルで2024年度定時総会記念トークセッションを開いた。国際デザインセンターが共催し、会員のデザイナーら約50人が参加した。

冒頭、安藤会長は「皆さんの熱



プレゼンする尾西氏

CCDOら トークセッション

テーマは「デザインの価値」

量で世の中を変えていきたい。トークセッションを通じ、新しいアイデアが生まれることを期待している」とあいさつした。

続いて水野健一（D-WEBER代表取締役、今尾真也（リトルクリエティブ）代表取締役、尾西雄一郎（スペース名古屋本部クリエティブ）事業部長・クリエティブディレクターの3人が「デザインの価値」をテーマにプレゼンテーションした。

この中で尾西氏は、自身が携わった仕事を説明した。一昨年のKITTE名古屋クリスマスツリーのコンペでは、電力需給が逼迫する状況下で、約5万個の蓄光ブ

ラスチックを使い、ライトアップではなくライトダウンする展示を提案し、採用された事例などを紹介。その上で「空間ディスプレイは、五感や時間を通じて想いや価値を伝えることができる」と力説した。

その後、安藤会長を進行役に登壇した3者がディスカッションした。

CCDOは1988年に発足。愛知県内のデザイン関係10団体で構成し、行政機関、名古屋商工会議所、国際デザインセンターなどと連携して、デザイナーの質的向上やデザインの振興に努めている。

